

須恵器(すえき):4世紀頃、朝鮮半島から伝わった焼物。窯で焼かれる。

大仙古墳(だいせんこふん):伝仁徳陵(にんとくりょう)。大阪府堺市に所在。日本最大の前方後円墳。長さ486m、幅305m、高さ35.8mの規模。日本文教出版『小学社会6年 上』では「人の力だけでつくと、のべで680万7000人の人手と15年8か月の工事期間」がかかるとある。

6月5日(月曜日)・6日(火曜日)、研究者の方が西牧野遺跡出土遺物の資料調査のため来館されました。

調査研究課の鶴飼です。

6月5日(月曜日)・6日(火曜日)、研究者の方が西牧野遺跡(岡崎市)から出土した石器の資料調査のため、来館されました。西牧野遺跡からは旧石器時代の凝灰岩で作られた、石器が多数出土しました。今回の調査では、石器や石器の材料を中心に観察されていました。

西牧野遺跡:岡崎市に所在する、旧石器時代の礫群(れきぐん)や石器が出土した遺跡。旧石器時代以外に縄文時代の竪穴建物(たてあなたてももの)や、鎌倉時代から室町時代はじめの屋敷跡が確認されました。

旧石器時代:土器が出現する以前の、打製石器を主な道具として使用していた時代。約1万2千年前より古い年代の石器文化のこと。



遺物実見の様子

愛知県埋蔵文化財調査センターでは、展覧会の展示、報告書・論文作成のための資料調査を受け付けています。実見をご希望の方は、下記の連絡先・担当までお願いします。

愛知県埋蔵文化財調査センター

電話 0567-67-4164

メールアドレス maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp

担当 調査研究課 佐藤

電話の受付は平日の9時から17時までです。

弥富市立弥富中学校の生徒さんたちが職場体験に来ました。

調査研究課の鶴飼です。

弥富市立弥富中学校の生徒さんが、当センターに職場体験のため訪れました。

初日(29日)は弥富市社会教育センターで体験する生徒を含め、8名が出席しました。はじめに調査センター職員が考古学や調査センターの仕事について説明し、施設見学を行いました。生徒の皆さんは最初緊張した面持ちでしたが、施設見学を終えるころには緊張も解け、午後からの実習を楽しみにしている様子でした。

午後は遺物の接合を行いました。生徒の皆さんは作業員の方から手順を教えてもらったのち、作業を始めました。初めて触れる遺物にみな苦戦していましたが、作業に慣れて破片がつながり始めると、意欲的に作業を進めていました。

2日目(30日)は午前中に遺物の実測・拓本作業を行いました。生徒の皆さんは調査センター職員の手ほどきを受け、集中して作業に取り組むことができました。午後は愛知県埋蔵文化財センターの職員の方の指導のもと、前半は顕微鏡を操作してケイソウの観察、後半は木製品の収納を行いました。この日はケーブルテレビの取材のために来館した同じ中学の職場体験の仲間も加わり、にぎやかでした。

3日目(31日)は午前中模擬授業と図書整理を行いました。模擬授業では「土器・ど・キット」を用いて土器の変遷を学び、遺跡から出土した赤彩(せきさい)土器・円窓付(まるまどつき)土器に触れて、皆でその用途を考えました。図書整理では報告書の名称を一覧表に書き込む作業でしたが、生徒の皆さんはきびきびと作業に取り組んでいました。午後は感想文を発表して職場体験を終えました。

3日間の作業を通じて、生徒の皆さんがまじめに取り組んでいたことが印象に残りました。今後はこの体験を学校生活に生かしてもらえればと思います。

ケイソウ :海や川の中に生息する単細胞の植物プランクトンの仲間。種類を調べることで、昔の水辺の環境を

復元することができます。

赤彩土器 :土器の表面に赤色の顔料などで彩色した、尾張地方特有の土器。

円窓付土器:壺などの土器の胴部に穴をあけた、用途不明の土器。尾張地方西部、特に朝日遺跡(清須市から

名古屋市に所在する東海地方有数の弥生時代の遺跡)を中心に出土。



接合作業の様子



ケイソウの観察



取材の様子

土器に触れて考える

北野田C遺跡の発掘が始まりました。

調査研究課の岡田です。

5月18日(木曜日)から北野田C遺跡(豊田市蕪木町)の発掘が始まりました。現在は過去の人々が残した生活の跡を検出するために表土を掘り下げています。

発掘している現場は山間の休耕田です。隣接する北野田B遺跡(豊田市蕪木町)の調査では大量の木製品とともに山茶碗など鎌倉・室町時代の陶器が出土したため、北野田C遺跡でも同様の成果が得られるのではないかと期待が高まります。



左: 重機で掘削した地表面

右: 以前調査で掘った試掘坑を見つけました。

山茶碗: 主に中世(平安時代末～室町時代)に瀬戸や常滑など東海地方で生産された無釉の陶器。

5月11日(木曜日)に土岐市美濃陶磁歴史館の学芸員の方が考古資料の借用のため来館されました。

調査研究課の岡田です。

5月11日(木曜日)に土岐市美濃陶磁歴史館の学芸員の方が考古資料の借用のため来館されました。

鶯窯跡(うぐいすかまあと)(瀬戸市)から出土した茶碗などの器の実見をしていました。ちょうど日本に喫茶の文化が広まる中、唐物(からもの)の代用品としてつくられたものだそうです。

今回実見で調査された考古学資料は、平成29年9月15日(金曜日)から平成29年11月26日(日曜日)まで土岐市美濃陶磁歴史館で行われる特別展「お茶と美濃焼」で展示される予定です。



クイズ:学芸員さんが写真をとっている土器は何だと思えますか？

ヒント:現在のものは鉄でできています。

答:茶釜です！

鶯窯跡:瀬戸市岩屋町、島原町にある室町時代前半(14世紀後半～15世紀前半)の窯跡。

唐物:中国、その他の諸外国から伝わった品物。茶碗の他に絵画などももたらされた。

5月10日(水曜日)に鈴鹿市考古博物館の学芸員の方が考古資料の借用のために来館されました。

調査研究課の岡田です。

5月10日(水曜日)に鈴鹿市考古博物館の学芸員の方が考古資料の借用のために来館されました。今回は塔の越遺跡(とうのこしいせき:稲沢市)から出土した須恵器などを実見されました。実物を手に取ると、事前に調べたものとは違うこともあるようです。

今回調査された遺物は、平成29年9月30日(土曜日)から平成29年12月3日(日曜日)まで鈴鹿市考古博物館で行われる特別展「道でつながる古代の役所」で展示される予定です。



遺物の観察

塔の越遺跡: 稲沢市長野町、治郎丸大角町、治郎丸石塚町に所在する古墳時代、奈良時代の遺跡

津島市立津島南小学校で出前授業を行いました。

調査研究課の岡田です。

4月19日(水曜日)に津島市立津島南小学校で出前授業を行いました。出前授業とは当センターの職員が実物の考古資料を持って、依頼のあった学校まで出向き授業を行うものです。

今回は「弥生時代の食」にテーマを当て、朝日遺跡から出土した煮炊きに用いた「甕(かめ)」、貯蔵に用いた「壺(つぼ)」、盛り付けに用いた「高杯(たかつき)」を2つずつ持参しました。さらに、同遺跡の貝塚から出土した「かき」「はまぐり」などの貝殻も持参しました。

津島南小学校6年生のみなさんは目の前にある土器や貝殻が当時のものであることに驚き、実際に触り、土器を持ち上げて重さの違いを確かめるなど、興味深く観察していました。そして、土器をスケッチし、特徴などを書き込んでいました。

子どもたちが喜んでくれると当センター職員も嬉しく思い、やりがいを感じます。



左上・下:実際に弥生土器を手にする津島南小学校6年生の児童

中上 :出前授業の様子

中下 :校長先生も出前授業に参加！

右 :土器をスケッチする津島南小学校6年生の児童

4月19日更新 4月14日(金曜日)に大阪府近つ飛鳥博物館の学芸員の方が考古資料の借用のために来館されました。

調査研究課の岡田です。

4月14日(金曜日)に大阪府立近つ飛鳥(ちかつあすか)博物館の学芸員の方が考古資料の借用のために来館されました。借用されたのは朝日遺跡(清須市・名古屋市)、廻間(はさま)遺跡(清須市)、志賀公園(しがこうえん)遺跡(名古屋市)などから発掘された土器、22点です！

これらの考古資料は大阪府立近つ飛鳥(ちかつあすか)博物館(大阪府南河内郡河南町)で「東国尾張とヤマト王権」に展示されます。開催期間は4月22日(土曜日)～6月18日(日曜日)までです。ぜひ大阪府立近つ飛鳥(ちかつあすか)博物館に足をお運びください！



左:須恵器(すえき)をチェックする学芸員さん

中:遺物の確認と梱包(こんぼう)は同時作業！ 結構大がかりな作業です

右:土器のまわりに梱包材(こんぼうざい)が巻かれたら...あっという間に全体が包まれてしまいました

世界文化遺産を大阪
百舌鳥・古市古墳群

東国尾張と
ヤマト王権

大阪府立近つ飛鳥博物館
平成29年度 春季特別展

—考古学からみた狗奴国と尾張連氏—

主催 / 大阪府立近つ飛鳥博物館
後援 / 河南町 河南町教育委員会
太子町 太子町教育委員会
羽曳野市 羽曳野市教育委員会
百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議
近畿日本鉄道株式会社 朝日新聞社

平成29年
4/22(土)
▶ 6/18(日)

開催時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 毎週月曜日
入館料 一般 650円[520円]
65歳以上・高校・大学生 450円[360円]
中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方(介助費を含む)は無料
(1日1回20名様以上の団体料金)

アスカティア 古墳の森
大阪府立近つ飛鳥博物館
OSAKA PREF. CHIKATSUASUKA MUSEUM

0301 大阪府河南内郡河南町太子東山299番地
01-60-6321 FAX 0721-93-6325 <http://www.chikatsu-asuka.jp/>

珠美二子山古墳
馬形埴輪
(春日井市教育委員会 蔵)

4月19日更新 4月13日(木曜日)に奈良県立橿原考古学研究所附属博物館の学芸員の方が当センターの考古資料の借用のために来館されました。

調査研究課の岡田です。

4月13日(木曜日)に奈良県立橿原(かしはら)考古学研究所附属博物館の学芸員の方が当館の考古資料の借用のために来館されました。借用されたのは一色青海(いっしきあおかい)遺跡(稲沢市)から出土した筒型土器、土製錘飾(すいしよく)、朝日遺跡(清須市・名古屋市)から出土した絵画土器です。

学芸員さんは念入りに考古資料を手に取り確認されていました。また、梱包・運送する業者さんも時間をかけて慎重に箱詰めを行っていました。当センターの考古資料は奈良県立橿原(かしはら)考古学研究所附属博物館(奈良県・橿原市)で「新作発見! 弥生絵画 一人・動物・風景」に展示されます。開催期間は4月22日(土曜日)～6月18日(日曜日)までです。ぜひ奈良県立橿原(かしはら)考古学研究所附属博物館に足をお運びください!



左: 絵画土器の確認

右: 慎重に梱包される絵画土器

平成29年度春季特別展 唐古・縄遺跡発掘80周年記念

新作発見！ 弥生絵画

2017年 4/22(土) ▶ 6/18(日) - 人・動物・風景 -

人・鹿・犬などを描いた土器【大塚市指定文化財】/東町田遺跡群 (大塚市教育委員会写真提供)

人を描いた土器【石巻】/伊達遺跡 (天理大学附属天理女子大学考古学館写真提供)

鹿を描いた土器/東宮遺跡群 (大塚市教育委員会写真提供)

鹿を描いた土器/色巻池遺跡 (公益財団法人愛知教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター写真提供)

サメを描いた銅剣/出土地不明 (鳥取県立博物館所蔵) (奈良文化財研究所提供)

鹿を描いた土器/乳尾池遺跡 (岐阜県文化財保護センター写真提供)

展示品はほとんど
写真撮影できるよ！
お気に入りを見つけてね。

スケッチ会や
クイズを毎日開催！
詳しくはこちら▶

奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
THE MUSEUM, ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA, NARA PREFECTURE
●〒634-0062 奈良県橿原市船場町 5D-1 ●TEL:074-424-1185 ●FAX:074-424-1323 ●URL: http://www.kashihara-ai.jp/museum/

※白線は縮をとりやすくするための表示です。

4月19日更新 一宮市博物館の学芸員の方が実見のために来館されました。

調査研究課の岡田です。

4月12日(水曜日)に一宮市博物館の学芸員の方が、企画展で展示する予定の考古資料を実見するため来館されました。今回実見されたのは、朝日遺跡(清須市・名古屋市)から出土した円窓付土器(まるまどつきどき)、骨角器類、名古屋城三の丸遺跡(名古屋市)から出土した石包丁(いしぼうちょう)です。

実見された考古資料は一宮市博物館で7月15日(土曜日)から8月27日(日曜日)まで開かれる企画展「**なん**で穴があいているの? ~穴の向こうに広がる世界~」に展示される予定です。



「円窓付土器」をスケッチする一宮市博物館の学芸員

・円窓付土器(まるまどつきどき): 弥生時代中期後葉に用いられるようになる。土器の胴部に穴の開けられた土器。

集落域と墓域との境や方形周溝墓で出土が確認できることから、祭祀や儀礼に関する

る土器と考えられる。

・石包丁(いしぼうちょう): 弥生時代の石などで作られた穂摘み具。穂首刈りという方法で稲穂が刈り取られて

いたと考えられている。

4月10日更新 4月6日(木曜日)に「きんてつハイキング」が開催されました。

調査研究課の尾崎です。

4月6日(木曜日)に「きんてつハイキング」が開催されました。当日は当センターもハイキングコースに含まれていたため、190人の方々が来館されました。来館された方々は現在開催されている「春の特別公開2017・やとみ新発見展」を見学されていられました。みなさん熱心に展示されている土器や石器などの遺物を観察されていました。

「やとみ新発見展」は来年春まで、「春の特別公開2017」は4月16日(日曜日)までとなっております。たくさんの方の御来館をお待ちしております。



「きんてつハイキング」の様子

4月10日更新 愛知県陶磁美術館の学芸員の方が遺物の借用のため来館されました。

調査研究課の尾崎です。

4月6日(木曜日)に愛知県陶磁美術館の方が企画展で展示する遺物の借用のため来館されました。今回借用の対象となっているのは、清洲城下町遺跡(清須市)、名古屋城三の丸遺跡(名古屋市)、松河戸遺跡(春日井市)から出土した瓦です。

借用された瓦は、愛知県陶磁美術館で開催される企画展「瓦万華鏡～社会、地域、心をつなぐ～」に展示されます。開催期間は4月15日(土曜日)～6月25日(日曜日)までです。古代から近代までの瓦が一挙勢ぞろいする展示となっております。ぜひ愛知県陶磁美術館へ足を運んでください！



遺物の貸出しの様子

4月10日更新 当センター職員がクローバーテレビの番組「飛び出せ！ななみ号」に出演しました。

調査研究課の尾崎です。

4月4日(水曜日)に当センター職員がクローバーテレビの生放送番組「飛び出せ！ななみ号」に出演しました。クローバーテレビの中込優美リポーターと打ち合わせを終えた後、15分間の生放送に臨みました。番組では主に現在行われている「春の特別公開2017・やとみ新発見展”（しんはっけんでん）」の見どころ紹介を行いました。テレビ放送をきっかけに多くの方々に来館していただきたいと思っています。